

特殊車両の適正運行の促進 好事例

確認の徹底(A) 教育強化(B) 情報の共有(C) 荷主への対応(D) その他(E)

清水飼料運送 有限会社



出発前の確実な重量測定を行う管理でドライバーとの信頼関係の確保

会社概要

静岡県を中心として、畜産農家とメーカーに、専用のバルク車（飼料搬送車）で長年培った経験を基に、衛生的で安心できる配合飼料・粗飼料などを最適に輸送することに心掛けております。



取組概要

事例① 特車通行許可証の確認、ルートの確認 (A・C)

運行管理者が出発前に貫看場において、ドライバーに対して特殊車両通行許可証等の携帯書類を提示させることで許可証の不携帯を防止するとともに通行経路等についても確認を徹底し、各種条件違反の防止に努めている。

事例② 運行前の確実な重量計測 (A・C)

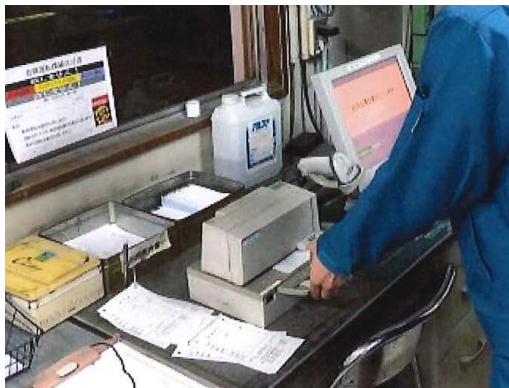
運行管理者は全ての車両を出発前に貫看場において車両総重量を計測することで、積載物の重量が許可証に記載された許可値以下であることを確実に確認したうえでドライバーを出発させ、重量超過等の違反を発生させないよう管理を徹底している。

事例③ 社員教養の徹底 (B)

3ヶ月に1回の割合で定例会議を開催し、特車を運行させていることから安全運転に対する教養を中心に、労務規則や特殊車両通行許可制度についても必要の応じて教養し、土日は完全休業とする等、働き方と生産性向上のバランス考えた社員教養を徹底している。



取組① 現場確認とルート検討状況



取組② 出発前の重量確認状況



取組③ 定例会議での教養状況